



2024,11,2

No. 099

JTSU-E 長編成ワンマン運転開始における TIMS モニタを使用した
申第16号 ワンマンドアスイッチ (タッチパネル式) の導入に関する申し入れ

TIMS モニタの乗降扱いは危険性が高い!?! 11月1日提出!

長編成ワンマン運転対象線区に山手線、京浜東北・根岸線、南武線、横浜線、常磐線(各駅停車)などが示されました。すでに東京地本や横浜地本では、常磐緩行線や南武線のワンマン運転開始について提案が実施され、議論が始められています。関係職場ではワンマン運転開始に向けた訓練も進められています。

JR東日本では初めての長編成ワンマン運転であることから、安全で安定した輸送サービスをつくりだすための必要な設備の設置を行うとともに十分な検証期間が必要であると考えます。現に常磐緩行線では車載ホームモニタに死角があったことやミリ波伝送式ホームモニタシステムの不具合により、訓練スケジュールに遅れがでるなどの問題が発生しています。南武線では TIMS モニタを使用したワンマンドアスイッチ(タッチパネル式)の導入が予定されていますが、すでに訓練で使用した多くの乗務員からは「車載モニタを見ながらでは操作性に不安がある。ドア閉扉の際の連動性にタイムラグがある」と不安の声があがっています。また有識者からも「TIMS モニタを用いたドア扱いは危険性が高い」との懸念も示されています。

昨今、不祥事や繰り返される事故・事象によって社会的にも信頼は失墜しています。安全で安心して利用できる鉄道を目指すためには、組合員、社員の不安を取り除き、利用者や地域の皆さまの声に真摯に耳を傾けていく経営姿勢を築いていくことが不可欠です。

＝申し入れ事項＝

1. 車掌業務の本質に踏まえ、想定外を想像し安全を先取るために行ってきたリスク管理に関する取り組みを具体的に明らかにすること。また、ワンマンドアスイッチ(タッチパネル式)の導入に対し、安全性・安定性の維持を可能とする根拠を示すこと。
2. 今申し入れに対する回答は2024年11月15日までにを行うこと。また団体交渉は2024年11月30日までに実施すること。